



電源投入後のキー入力について

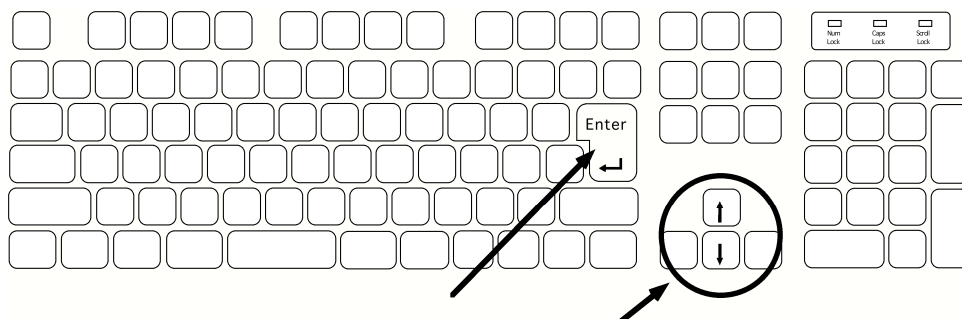
1. 電源投入後

画面上には右のような画像が表示されます。

画面左下の「Windows Vista」と書かれた部分の白黒反転表示を確認して、Enter キーを押します。もし表示が「Vine Linux 4.2」を指していた場合、矢印キー   で「WindowsVista」に切り替えて、Enter キーを押します。



矢印キーと Enter キーの位置：

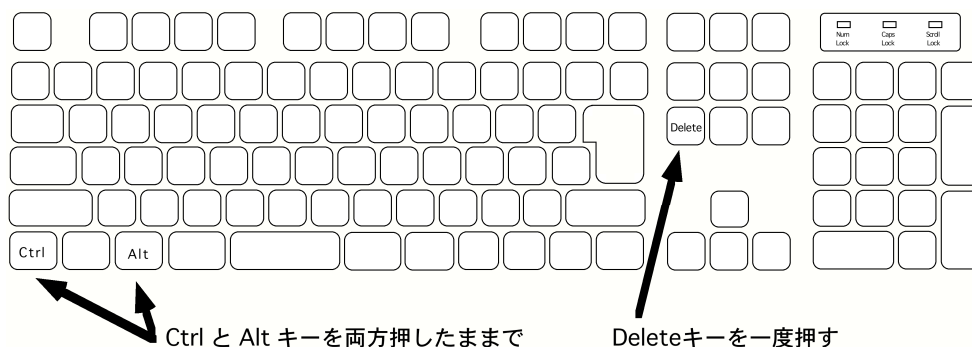


2. ログオン

画面上には右のような表示になります。書かれている通り、Control, Alt, Delete キーを同時に押します。操作としては、Control キーと Alt キーをふたつとも押したままにしてから、Delete キーを一度押すようにすると良いでしょう。




各キーの位置：

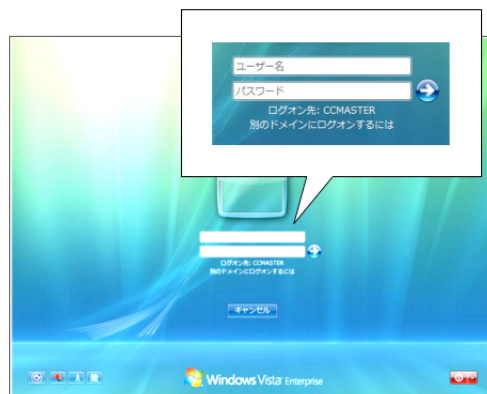



3. ユーザ名とパスワードの入力

画面には右のようなウィンドウが表示されます。


「ユーザー名」部分に自分のユーザ ID（恐らく g0123456 のようなもの）を入力し、「パスワード」部分にパスワード（2dWL#34 のようなもの）を入力します。

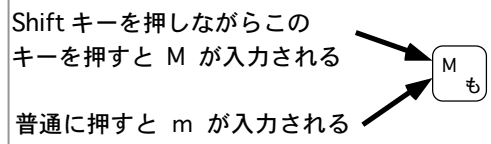
まず、「ユーザー名」の右にある記入欄にカーソル（|）が点滅していることを確認し、キーボードを一文字ずつ押して入力します。カーソルが点滅していない場合は入力できません。マウスポインタ（) を記入欄に移動させ、記入欄の上でクリックしてください。打ち間違いは「Back Space」キーで訂正できます。なお、今の段階では数字の入力にはキーボード右側のテンキーは使いません。キーボードの左半分、上から二列目の数字キーを使ってください。




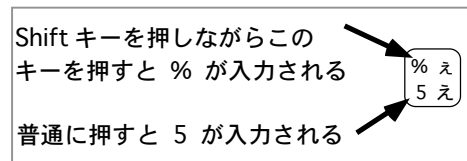
同様の操作で「パスワード」も入力します。「パスワード」の右にある記入欄に今度はマウスポインタ（) を移動させて、クリックし、カーソル（|）をパスワード記入欄で点滅させてから入力します。

文字、記号の入力方法：

アルファベットとひらがなしか書かれていないキー、例えば  は、普通に押すと小文字の「m」が入力されます。Shift キーを押しながら入力すると「M」と大文字になります。

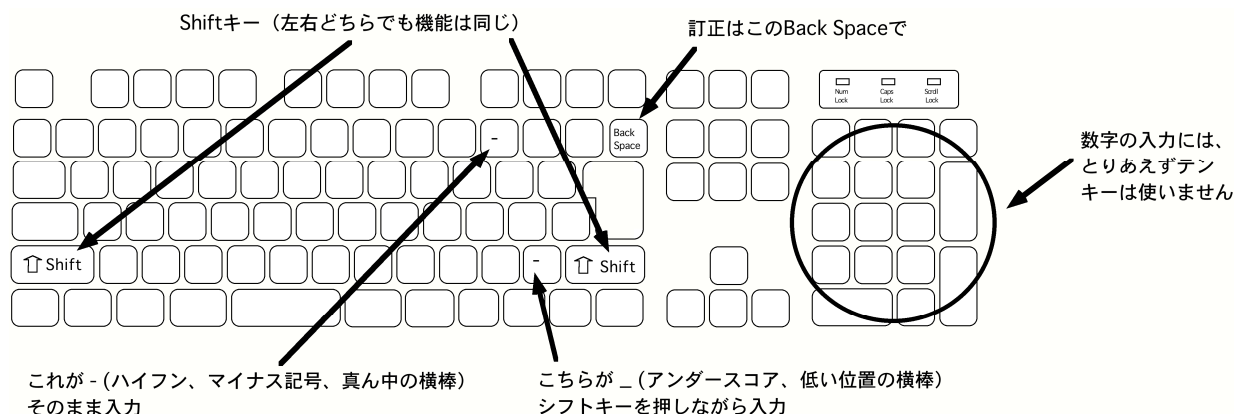



数字が0～9まで横一列に書かれたキー、例えば  は、普通に押すと数字の「5」、Shift キーを押しながら入力すると記号である「%」が入力されます。



パスワードは、他の人に見られないように、どのような文字を入力しても「*」に置き換えられて表示されます。もし正しい文字が打ち込めているか自信がない場合は、いったんユーザー名の記入欄にその記号などを入力してみると良いでしょう。確認できたら「Back Space」キーで消しましょう。

各キーの場所：間違いやすい記号と、Shift キー、Backspaceキーなど



ユーザー名とパスワードが入力できたら矢印ボタン  をクリックしてください。これでログオンできるはずですが。